

進む農業機械の大型化・ICTに伴う地域農業に対応 した耕地防風保安林整備と境界管理(中間報告)

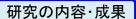
佐々木英樹 網走南部森林管理署

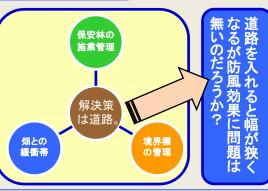
研究の背景・目的

網走南部森林管理署の耕地防風保安林は、小清 水町、斜里町、清里町、網走市に跨がり総面積1.185 ha、防風林の延長約146km。





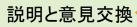




期待される効果

- 1.国有林と耕作地の緩衝帯
- 2.保安林整備のインフラ
- 3.境界標管理(巡検と整備)
- 4.ICT農業の電波障害軽減
- 5.畑地への日陰、雪の吹きだまり軽減

関係者との合意形成





こういった提案をして くれるのは、ありがた

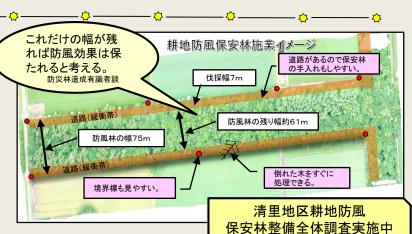
R元からR2現在まで各関 係者団体への説明の場は

足で稼いで汗をかいて調 整する事が重要と感じた

の見える関係を

ゲートや看板を含めて考えます。

一般の人も入っ てくるので対策を 考えて欲しい



今後の展開

令和3年度にモデル林整備 と現地検討会を実施!

清里・斜里の農民関係組織、自治体を主体に耕地防 風保安林がある小清水・網走の関係団体に声掛けをし モデル林で検討会を複数回実施して、耕地防風保安 林整備のイメージをつかんでもらうことが目的。 (複数回実施するのは、コロナ対策を含め、病害を考え 畑地に大きなインパクトを与えないため。)

そして、ゆくゆくは

- 〇耕地防風保安林の計画的な道路整備と積 極的な森林整備を実施する
- ○今後の耕地防風保安林整備方策の資料とし て活用する(勉強会、検討会等)
- ○地域の要望に応え、連携する耕地防風保安 林管理を行っていく

お問合せ:網走南部森林管理署 0152-62-2211(代表)

: hideki_sasaki900@maff.go.jp まで。